

富岡町災害復興計画（第二次）後期【概要版】

第2編 災害復興計画（第二次）後期

第1章 目指すべき姿（P.18～）

人が生き 町が活き 未来がいきる 富岡町

第1編 災害復興計画（第二次）後期の策定にあたって

災害復興計画（第二次）の基本理念と基本方針

基本理念1：

町民一人ひとりの“心”の復興

- ◇町民の生活再建と自立を支援し、町とのつながりを持ち続けられる環境を整えます。
- ◇仲間との笑顔、誇りと自信を心の中に取り戻し、未来の子どもたちに伝えていきます。

基本理念2：

町民の心をつなぐ
“ふるさと富岡”の復興

- ◇町民の心をつなぐふるさと富岡の復旧・復興を図ります。
- ◇生活・仕事・文化の再生と、将来の発展に向けた魅力ある拠点整備や土地利用を進めていきます。

基本方針

町民が抱える課題を解決し復興を進める方針

基本方針1 生活の再建

個々によりそう暮らしの支援
『町民一人ひとりを支える心身両面のサポート』

基本方針2 町内の復旧・復興

段階的かつ着実に進める
『暮らし・仕事・地域の復興』

基本方針3 絆づくり

町や町民とのつながりを守り、育む
『将来にわたる町・町民との関係づくり』

基本方針4 情報発信

町民それぞれの立場に対応する
『正しく分かりやすい情報の発信』

基本方針5 実行体制づくり

復興に向けた
『みんなの支えあいと役割分担』

第2章 政策と施策（P.19～）第3章 分野別具体的な取り組み（P.30～）

【5つの政策】

【15の重点施策】

政策1

町とつながり
続ける環境の充実

- (1) ふるさと富岡と心のつながりの推進
- (2) 生活環境の整備と町内の土地建物管理の支援
- (3) 自然環境の回復

政策2

インフラ復旧・
拠点整備

- (4) 住民のための生活拠点の整備・拡充
- (5) 広域的な道路・交通基盤の整備
- (6) 災害に備えたまちづくり

政策3

産業再生・創出

- (7) 農業・農地再生に向けた取り組み
- (8) 新たな活力と魅力あるまちづくり
- (9) 水産業再生に向けた取り組み

政策4

健康・福祉・教育

- (10) 教育環境の整備
- (11) 心身ともに健康で安心して生活ができる医療・福祉の充実
- (12) 町民の放射線健康管理の充実
- (13) 誰もが活躍できる地域社会の実現

政策5

新たなひとの
流れの創出

- (14) 交流・関係人口の創出・拡大
- (15) 移住・定住の促進

第4章 計画の推進（P.45～）

- 行政評価（施策評価）による災害復興計画（第二次）後期の進行管理
- 国・県・他市町村との連携 ○町民との協働と民間活力の積極的活用

参考資料（P.48～）

- これまでの主な取り組み ○土地利用方針
- 復興マップ・整備予定施設・関係機関一覧

第1章 計画の策定趣旨（P.2～）

災害復興計画（第二次）の進捗状況の検証と町を取り巻く状況の変化を踏まえた上で、新たな取り組みを進めるため今後5年間の目指す方向性や取り組みを確認し、成果目標の達成度などにより計画の進捗を検証する仕組みを整え、復興再生から創生へと町の魅力的な発展を目指す

第2章 計画の概要（P.3～）

- 未来にあるべき姿と方向性を示した総合的かつ基本的な指針
- 2020（令和2）年度～2024（令和6）年度の5年間
- 創生総合戦略と一体化により復興し自立・持続可能な町へ

第3章 町を取り巻く状況と新たな課題（P.5～）

- 町内の状況 ○人口の推移 ○居住人口の回復と傾向 ○町民の意向 ○町外避難者への支援
- 除染と放射線リスクコミュニケーション活動 ○廃炉に向けた原子力発電所
- 地域経済の変化や産業基盤の整備 ○津波被災地区
- 災害復興計画（第二次）策定後における法改正等
- 帰還困難区域の復興に向けた取り組み ○新たな課題

“いきるまち”の実現にむけた 5つの政策

政 策	町とつながり続ける環境の充実	インフラ復旧・拠点整備	産業再生・創出	健康・福祉・教育	新たなひとの流れの創出
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 富岡で生まれ育ったことを誇りに、どこにいても“ふるさと”とつながれる仕組みづくりを行います。 ○ 町内で安心して暮らせる生活環境の整備と、町内の土地建物を管理する仕組みづくりを行います。 ○ 緑豊かな自然を取り戻し、心のゆとりにつなげる“自然環境の回復”を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帰還困難区域全域の再生に取り組みます。 ○ 幹線道路の整備や公共交通機関の利便性向上により町内生活環境の向上を図ります。 ○ 震災や風水害の教訓をいかし、平時より災害に備え、町民生活に安心を与えるまちづくりに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 営農再開とともに、帰還困難区域内の農地保全を行います。 ○ 「福島イノベーション・コースト構想（国際研究産業都市構想）」による地域活性化や雇用促進を図ります。 ○ 富岡川サケやな場及びびふ化施設の再生や、富岡漁港共同利用施設等の活用により、水産物の安定供給を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもと保護者が安心できる教育環境の整備を進めます。 ○ 町民が安心して生活できる環境づくりを進めます。 ○ 放射線が及ぼす健康被害や不安を解消するとともに、町民の健康づくりを推進します。 ○ 年齢や性別を問わず、誰もが居場所と役割を持ち活躍できる環境を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 将来的に移住へとつながる交流・関係人口の創出・拡大を図ります。 ○ 新たに、町に住んでみたい方々を支援します。

政策実現にむけた取り組みと成果目標

政 策	取 組 み	5 年 後 目 標	取 組 み	5 年 後 目 標	取 組 み	5 年 後 目 標	取 組 み	5 年 後 目 標	取 組 み	5 年 後 目 標
政策実現に向けた成果目標	観光客入込数	50,000人/年	インフラ復旧	特定復興再生拠点区域内完了	農業施設の整備	1か所	給食施設の整備	1か所	各種ツーリズムの開催	2事業/年
	避難者個別相談会	8回/年	町営住宅の整備(特定復興再生拠点区域内)	供用開始	営農再開面積の拡大	280㍍(水稻61㍍)	眼科及び歯科、調剤薬局再開	各1医療	移住相談者数	30組/年
	公営住宅等の整備(町内全域)	200戸	夜の森公園の整備	整備完了	新規就農者	2人/年	高齢者見守りネットワーク協定事業者	40事業者	移住専門誌等での情報発信	4回/年
	特定空家等の把握	調査完了	広域幹線道路へのアクセス道路(町道等)の整備	2km完成	産業団地への企業誘致	確約面積90%	特別養護老人ホーム利用者	50人/年	子育て世帯奨励金交付	10件/年
	自主防災組織	2地区設置	自動電気バス(EVバス)の導入	1台配備	新規起業家への支援	補助金交付開始	特定健康診査受診率の向上	52.5%	新規転入世帯	150世帯以上/年
	面的除染	特定復興再生拠点区域外着手	防災教育の実施	1回/年	サケ稚魚の放流	150万尾/年	総合スポーツセンター利用者	21,000人/年	インターシップの受入	5人/年(民間を含む)
	ふくしま森林再生事業の推進	200㍍	フリーWi-Fi環境の整備	5か所	富岡漁港の利活用推進	漁船:8隻	サークル団体の育成	30団体	町内居住者数	5,000人

効果

- ・ 心穏やかな生活環境
- ・ 風化防止と風評の払拭
- ・ 過不足が生じない住環境
- ・ 花と緑あふれる町

- ・ 帰還困難区域再生構想の実現
- ・ 憩い・交流の場の創出
- ・ 災害に強い町
- ・ 情報通信網の充実

- ・ 農林水産業再生の礎
- ・ 雇用創出と地域経済の活性化
- ・ 人材の育成と確保
- ・ 再エネの推進

- ・ 学びの場の充実
- ・ 医療、福祉環境の確保
- ・ 健康寿命の延伸
- ・ 放射線に対する正しい情報の発信による不安の解消

- ・ 町内居住者及び交流・関係人口の増加
- ・ 観光事業の強化による地域全体の活性化
- ・ 情報発信強化による町への理解と関わり